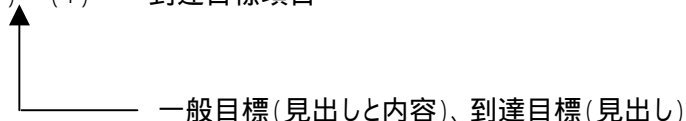


モデル・コア・カリキュラム運用解釈における変更の概要

1. カリキュラム枝番号の整備と全枝番号の見出しへの記入

一般目標は基本として、#)に記入。#)が無い場合には、順次上の枝に記載。

例: A - 1 - 1) - (1) - 到達目標項目



2. 出題範囲に含める到達目標には、「*」に替え「・」を付した。

3. 項目立ての整備

- 25頁 「(3)身体を構成する組織・器官」内の見出し、「皮膚・粘膜」を「組織(上皮組織、支持組織、筋組織)」に変更、組織についての到達目標を組み込んだ。
- 28頁 「(5)疼痛」と「(6)腫瘍」の順序を入れ替え、「D-4-5)腫瘍」と「D-4-6)疼痛」に。
- 33頁 「2 口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患」内の項目の順序、タイトルの変更
 - 口腔・頭蓋・顎顔面領域の加齢とその異常 F-2-1)頭頸部の基本構造と機能
 - 頭頸部の基本構造と機能 F-2-2)口腔の基本構造と機能
 - 口腔の基本構造と機能 F-2-3)口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常
 - 歯・歯周組織の常態と疾患 独立した項目とし、「F-3 歯と歯周組織の常態と疾患」とした。そのため、「口腔・顎顔面領域の疾患」の枝番号がF-2-4)となり、前に移動。
 - 歯科医療の展開 独立した項目とし、「F-4 歯科医療の展開」とした。

- 34頁 「歯・歯周組織の常態と疾患」内に、「F-3-3)歯と歯周組織の疾患の診断と治療」および「F-3-4)歯質欠損と歯の欠損の診断と治療」を加え、下記のように疾病をそれぞれの下に配置。

- F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療
 - F-3-3)-(1) う蝕の診断と治療
 - F-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療
 - F-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療
 - F-3-3)-(4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療
- F-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療
 - F-3-4)-(1) 歯冠修復
 - F-3-4)-(2) 固定性義歯(橋義歯)
 - F-3-4)-(3) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)
 - F-3-4)-(4) デンタルインプラント

4. 用語の統一

- 「及び」「又」「並びに」「および」「また」「ならびに」
- 「・」「、」の使用 例:「医学・歯学研究」「個体発生、器官発生」
- 英語名のカタカナ表記の書式 例:インフォームド・コンセント インフォームドコンセント

- 出題の深さおよび範囲をより細かく規定する必要がある場合には、出題範囲に含める内容を〔 〕内に記した。

- 次頁以降に「モデル・コア・カリキュラムと本運用解釈との対照表」を示す。右の運用解釈欄で下線を引いた部分が変更箇所である。用語の統一による変更は記載していない。

モデル・コア・カリキュラムと本運用解釈との対照表

モデル・コア・カリキュラム		C B T問題作成における運用解釈	
頁数, ツリー番号・タイトル	内 容	頁数, ツリー番号・タイトル	内 容
20 頁 B-1 生涯学習	一般目標: 歯科医師として生涯にわたり学習するための態度と技能を身につける。	3 頁 B-1 生涯学習	一般目標削除
21 頁 B-2 対人関係能力	一般目標: 良好な対人関係を築くための基本的事項を理解する。	3 頁 B-2 対人関係能力	一般目標削除
21 頁 B-2-(1) コミュニケーション	到達目標: 1) コミュニケーションの目的と技法を説明できる。	3 頁 B-2-1) コミュニケーション	到達目標: コミュニケーションの目的と技法を説明できる。 【患者本人、保護者、介護者への説明を含む。】
22 頁 C-2 健康と社会・環境	一般目標: 健康と社会制度や環境との関係を理解する。	4 頁 C-2 健康と社会・環境	一般目標削除
22 頁 C-2-(1) 歯科医師法・関係法規	到達目標: 4) 医師法、薬剤師法及び保健婦助産婦看護婦法を概説できる。	4 頁 C-2-1) 歯科医師法・関係法規	到達目標: 医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。
22 頁 C-2-(2) 保健・医療・福祉制度	到達目標: 1) 保健・医療制度を説明できる。 2) 医療保険制度を説明できる。	5 頁 C-2-2) 保健・医療・福祉制度	到達目標: 保健・医療制度を説明できる。 【地域保健(母子、老人、学校保健)、産業保健および医療供給体制を含む。】 医療保険制度を説明できる。 【医療経済(国民医療費)を含む。】
23 頁 C-3 予防と健康管理	一般目標: 公衆衛生と歯科医療における予防と健康管理の重要性を理解する。	5 頁 C-3 予防と健康管理	一般目標削除
23 頁 C-3-(2) 口腔疾患の予防と健康管理	到達目標: 1) 主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 2) う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。	5 頁 C-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理	到達目標: 主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。 【生活習慣病の改善指導を含む。】 う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。 【予防填塞、ブラークコントロールを含む。】
24 頁 C-4 疫学・保健医療統計	一般目標: 疫学と科学的根拠にもとづいた医療(EBM; Evidence-based Medicine)を理解する。	6 頁 C-4 疫学・保健医療統計	一般目標削除

24 頁 C - 4 -(3) 保健医療情報	到達目標: 1) 保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。	6 頁 C - 4 - 3) 保健医療情報	到達目標: 保健医療情報の取扱いと情報のセキュリティーを説明できる。 【診療情報(診療録等)を含む。】
24 頁 D 生命科学		6 頁 D 生命科学	【出題内容は歯科臨床に関係することが望ましい。】
24 頁 D - 1 -(3) 細胞の構造と機能	到達目標: 2) 細胞骨格を説明できる。	7 頁 D - 1 - 3) 細胞の構造と機能	到達目標: 細胞骨格を説明できる。 【機能を含む。】
25 頁 D - 2 人体の構造と機能	一般目標: 個体の発生の仕組みと人体諸器官の発生と構造、生理的機能とその機序を理解するとともに、それらの加齢と発育による変化を理解する。 到達目標:	7 頁 D - 2 人体の構造と機能	一般目標削除
25 頁 D - 2 -(1) 身体の部位と方向用語	一般目標なし	8 頁 D - 2 - 1) 身体の部位と方向用語	一般目標: 身体の部位および方向用語について理解する。
25 頁 D - 2 -(2) 個体発生・器官発生	一般目標なし	8 頁 D - 2 - 2) 個体発生、器官発生	一般目標: 個体の発生の仕組みと人体諸器官の発生を理解する。
25 頁 D - 2 -(3) 身体を構成する組織・器官	一般目標なし 1) 上皮を形態的および機能的に分類できる。 2) 腺を分泌物の性状、形態および分泌機構にもとづいて分類できる。 3) 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 4) 硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 5) 軟骨内骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 6) 骨の改造現象と全身及び局所因子による調節機構を概説できる。 7) 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 8) 筋組織の構造と機能を説明できる。	8 頁 D - 2 - 3) 身体を構成する組織、器官	一般目標: 人体諸器官の構造および生理的機能とその機序を理解する。 到達目標:
25 頁 D - 2 -(3)-皮膚・粘膜	1) 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。	8 頁 D - 2 - 3)-(1) 組織 (上皮組織、支持組織、筋組織)	上皮を形態的および機能的に分類できる。 皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 腺を分泌物の性状、形態および分泌機構にもとづいて分類できる。 結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。 硝子軟骨、弾性軟骨および線維軟骨の特徴を説明できる。 軟骨内骨化と膜内骨化の機序と成長様式を説明できる。 硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。

25 頁 D-2-(3)- <u>運動器系</u>	1) 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 2) 骨格筋の構造と機能を説明できる。 3) 生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。	8 頁 D-2-3)-(2) <u>運動器系</u>	筋組織の構造と機能を説明できる。 生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 骨の基本構造と結合様式を説明できる。 <u>骨の改造現象と全身および局所因子による調節機構を概説できる。</u> 骨格筋の構造と機能を説明できる。 <u>【収縮の特徴および筋収縮の機序を含む。】</u>
26 頁 D-2-(3)- <u>循環器系</u>	1) 心臓の構造と機能を説明できる。	8 頁 D-2-3)-(3) <u>循環器系</u>	心臓の構造と機能を説明できる。 <u>【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】</u>
26 頁 D-2-(3)- <u>感覚器系</u>		9 頁 D-2-3)-(4) <u>感覚器系</u>	
26 頁 D-2-(3)- <u>神経系</u>	4) 脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 5) 血液・脳関門を説明できる。 6) 反射・半自動運動・随意運動の発現機序を説明できる。	9 頁 D-2-3)-(5) <u>神経系</u>	脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。 <u>【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】</u> 血液脳関門を説明できる。 反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。
26 頁 D-2-(3)- <u>消化器系</u>	1) 消化管(食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。	9 頁 D-2-3)-(6) <u>消化器系</u>	消化管(食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 <u>【平滑筋の特徴および消化管ホルモンの働きを含む。】</u>
26 頁 D-2-(3)- <u>呼吸器系</u>	2) 肺臓の構造と機能を説明できる。	9 頁 D-2-3)-(7) <u>呼吸器系</u>	肺臓の構造と機能を説明できる。 <u>【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</u>
26 頁 D-2-(3)- <u>内分泌系</u>	1) 各内分泌器官の構造と機能及びホルモンを説明できる。	9 頁 D-2-3)-(8) <u>内分泌系</u>	各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。 <u>【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</u>
26 頁 D-2-(3)- <u>泌尿器系</u>	2) 体液の量と組成及び浸透圧を説明できる。	10 頁 D-2-3)-(9) <u>泌尿器系</u>	体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。 <u>【酸 - 塩基平衡を含む。】</u>
26 頁 D-2-(3)- <u>生殖器系</u>		10 頁 D-2-3)-(10) <u>生殖器系</u>	
26 頁 D-2-(3)- <u>血液・造血器・リンパ網内系</u>	4) 止血と血液凝固の機序を説明できる。	10 頁 D-2-3)-(11) <u>血液・造血器・リンパ網内系</u>	止血と血液凝固の機序を説明できる。 <u>【線溶系を含む。】</u>

27 頁 D-2-(4)人体諸器官の成長・発育と加齢変化	一般目標なし	10 頁 D-2-4)人体諸器官の成長、発育と加齢変化	一般目標: 人体諸器官の成長、発育と加齢による変化を理解する。
27 頁 D-3 感染と免疫	一般目標: 1) 微生物の種類と特性を理解する。 2) 寄生・感染と生体の防御機構を理解する。 3) 防御の補助手段としての滅菌、消毒及び化学療法を理解する。 到達目標:	10 頁 D-3 感染と免疫	一般目標削除
27 頁 D-3-感染	一般目標なし	10 頁 D-3-1)感染	一般目標: 微生物の種類と特性および寄生、感染を理解するとともに、防御の補助手段としての滅菌、消毒および化学療法を理解する。
27 頁 D-3-免疫	1) 自然免疫と獲得免疫の異同を説明できる。 2) 細胞性免疫と体液性免疫の異同を説明できる。 3) 免疫担当細胞の種類と働きを説明できる。 5) アレルギーの分類を説明できる。	10 頁 D-3-2)免疫	一般目標: 寄生、感染と生体の防御機構を理解する。 到達目標: 自然免疫と獲得免疫について説明できる。 細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。 【抗体の種類と特徴を含む。】 免疫担当細胞の種類と働きを説明できる。 【免疫臓器および抗体を含む。】 アレルギーの分類を説明できる。 【発生機序を含む。】
27 頁 D-4 病因と病態	一般目標: 疾病の原因、成因及び転帰を体系的に学び、疫病の本態を理解する。	11 頁 D-4 病因と病態	一般目標削除
27 頁 D-4-(1)細胞傷害と組織障害及び萎縮	一般目標: 細胞傷害、組織障害及び萎縮の病因と形態的所見を理解する。 到達目標: 1) 細胞傷害と組織障害の原因を列挙し、実例を挙げて説明できる。 2) 壊死の多様性、病因、意義及び形態的所見の特徴を説明できる。 3) ネクローシスとアポトーシスとの違いを説明できる。	11 頁 D-4-1) 細胞傷害、組織傷害および萎縮	一般目標: 細胞傷害、組織傷害および萎縮の原因と形態的所見を理解する。 到達目標: 細胞傷害と組織傷害について説明できる。 【変性を含む。】 壊死の多様性、原因、意義および形態的所見の特徴を説明できる。 壊死とアポトーシスについて説明できる。
27 頁 D-4-(2) 修復と再生	到達目標: 1) 修復と再生の異同を説明できる。	11 頁 D-4-2) 修復と再生	到達目標: 修復と再生について説明できる。

28 頁 D-4-(4) 炎症	到達目標: 1) 炎症の定義を説明できる。	12 頁 D-4-4) 炎症	到達目標: 炎症の定義を説明できる。 【発症機序を含む。】
28 頁 D-4-(5) 疼痛	到達目標: 1) 疼痛の種類を説明できる。	12 頁 D-4-6) 疼痛	到達目標: 疼痛の種類を説明できる。 【関連痛を含む】
28 頁 D-4-(6) 腫瘍	到達目標: 2) 腫瘍の組織発生を説明できる。	12 頁 D-4-5) 腫瘍	到達目標: 腫瘍の組織発生を説明できる。 【発生原因を含む。】
29 頁 D-5 生体と薬物	一般目標: 生体と薬物の相互作用を学び、薬物治療の基本原則を理解する。	12 頁 D-5 生体と薬物	一般目標削除
29 頁 D-5-(1) 薬物と医薬品		13 頁 D-5-1) 薬物と医薬品	到達目標: 毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。(F-1-1) 基本的診療技能から移動]
29 頁 D-5-(2) 薬理作用	到達目標: 1) 薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。	13 頁 D-5-2) 薬理作用	到達目標: 薬物療法(原因療法、対症療法)を説明できる。 【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】
30 頁 E 歯科生体材料・ 歯科材料	一般目標: 歯科生体材料と歯科材料の特性、成分及び構造を把握し、適切な材料の選択基準並びに取扱い方法を理解する。 到達目標:	13 頁 E 歯科生体材料と 歯科材料	一般目標削除
30 頁 E-1 素材と所要 性質	1) 高分子材料、セラミック材料、金属材料及び複合材料の構造と物性を説明できる。	13 頁 E-1 素材と所要性 質	一般目標: 歯科材料に使用される素材の特性と用途に応じた所要性質を理解する。 到達目標: 高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。 【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】
30 頁 E-2 成形法と成 形用材料	1) 印象材の種類と性質を説明できる。 2) 歯科用石膏の種類と特性を説明できる。	14 頁 E-2 成形法と成形 用材料	一般目標: 成形を行って使用する歯科材料の種類と特性を理解し、これらの歯科材料の基本的成形方法を習得する。 到達目標: 印象材の種類と性質を説明できる。 【硬化の仕組みと使用方法を含む。】 歯科用石膏の種類と特性を説明できる。

	4) レジンの重合、金属の鋳造・熱処理及びポーセレン焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。		<u>【硬化の仕組みと使用方法を含む。】</u> レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびポーセレン焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。 <u>【歯科用レジン・金属・陶材の種類、用途および特性を含む。】</u>
30 頁 F 臨床歯学教育		14 頁 F 臨床歯学教育	<u>【診断・治療の方法については基本的なものに限る。また、基礎実習で学んだ事項を含む。】</u>
30 頁 F-1-(1) 基本的診療技能	到達目標: 2) 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 20) 毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。	14 頁 F-1-1) 基本的診療技能	到達目標: 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 <u>【歯科治療時の対応を含む。】</u> (はD-5-1) 薬物と医薬品に移動)
31 頁 F-1-(2) 画像検査	到達目標: 4) エックス線画像の形成原理を説明できる。	15 頁 F-1-2) 画像検査	到達目標: エックス線画像の形成原理を説明できる。 <u>【画像不良の原因を含む。】</u>
31 頁 F-1-(3)-1) 全身管理	5) 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。 6) 歯科治療時に留意すべき服用薬物を説明できる	16 頁 F-1-3)-(1) 全身管理	歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。 <u>【歯科治療時の対応を含む。】</u> 歯科治療時に留意すべき服用薬物を説明できる。 <u>【歯科治療時の対応を含む。】</u>
32 頁 F-1-(3)-3) 局所麻酔法	6) 局所麻酔時の合併症を説明できる。	16 頁 F-1-3)-(3) 局所麻酔法	局所麻酔時の合併症を説明できる。 <u>【偶発症とその対応を含む。】</u>
32 頁 F-1-(3)-4) 全身麻酔法	3) 全身麻酔法の種類と特徴を説明できる。	16 頁 F-1-3)-(4) 全身麻酔法	全身麻酔法の種類と特徴を説明できる。 <u>【前投薬、筋弛緩薬および主な全身麻酔薬の基本的薬理作用を含む。】</u>
32 頁 F-1-(4) 口腔外科小手術の基本手技	一般目標: 抜歯を中心とした口腔外科小手術を適切に実施するために必要な基本的知識と技能を身につける。 到達目標: 1) 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 3) 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 6) 手指と術野を消毒できる。	16 頁 F-1-4) 小手術の基本手技	一般目標: 小手術を適切に実施するために必要な基本的知識と技能を身につける。 到達目標: 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。 <u>【相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。】</u> 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 <u>【小手術を含む。】</u> 手指と術野の消毒について説明できる。 <u>【器具の滅菌・消毒を含む。】</u>
33 頁 F-1-(6)-1) 予防処置	2) フィッシャー・シーラントを実施できる。	17 頁 F-1-6)-(1) 予防処置	<u>【予防填塞を実施できる。】</u>

<p>33 頁 F-2 口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p>	<p>一般目標: 口腔・頭蓋・顎顔面の発生と基本的な構造・機能を理解し、この領域に発症する疾患の原因、病態、症状、検査、診断及び治療法の基本的手技を学ぶ。</p>	<p>18 頁 F-2 口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p>	<p>一般目標削除</p>
<p>33 頁 F-2-(1) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の加齢とその異常</p>	<p>一般目標なし</p> <p>3) 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。</p> <p>4) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。</p> <p>5) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の加齢による変化を説明できる。</p>	<p>18 頁 F-2-3) 口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常</p>	<p>一般目標: <u>口腔・頭蓋・顎顔面領域の器官の発生、成長・発育および加齢とその異常について理解する。</u></p> <p>到達目標: 口腔・頭蓋・顎顔面領域に症状をきたす主な先天異常を説明できる。 【診断と治療方針を含む。】 口腔・頭蓋・顎顔面領域の成長・発育異常(不正咬合)を説明できる。 【診断と治療方針を含む。】 口腔・頭蓋・顎顔面領域の<u>成長・発育および加齢による変化を説明できる。</u> 【<u>歯の喪失に伴う変化を含む。</u>】</p>
<p>33 頁 F-2-(2) 頭頸部の基本構造と機能</p>	<p>一般目標なし</p> <p>2) 咀嚼筋・表情筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>8) 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p>	<p>18 頁 F-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p>	<p>一般目標: <u>頭頸部の基本的な構造と機能を理解する。</u></p> <p>到達目標: 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。 「8) 咀嚼の意義と制御機構を説明できる。」をF-2-2)_口腔の基本構造と機能へ移動)</p>
<p>34 頁 F-2-(3) 口腔の基本構造と機能</p>	<p>一般目標なし</p> <p>1) 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。</p> <p>3) 咬合の定義を説明できる。</p> <p>4) 唾液の性状と役割を説明できる。</p> <p>5) 唾液腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>6) 構音器官としての口腔の形態を図示できる。</p>	<p>18 頁 F-2-2) 口腔の基本構造と機能</p>	<p>一般目標: <u>口腔領域の基本的な構造と機能を理解する。</u></p> <p>到達目標: 口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。 【口腔感覚の特徴を含む。】 歯列と咬合について説明できる。 唾液の性状と役割を説明できる。 【構成成分とその機能を含む。】 唾液腺の構造と機能を説明できる。 【分泌調節を含む。】 <u>咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</u> <u>構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</u></p>

34 頁 F-2-(4) 歯・歯周組織の状態と疾患	一般目標: 歯と歯周組織の常態を理解し、それらに生じる疾患の概要と治療の進め方の基本を修得する。	21 頁 F-3 歯と歯周組織の常態と疾患	一般目標削除
F-2-(4)-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能	一般目標なし 1) 歯の発生・発育と歯の交換の過程を説明できる。 2) 歯種を鑑別できる。 3) 歯(含:乳歯、幼若永久歯)の硬組織の構造と機能を説明できる。	F-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能	一般目標: 歯と歯周組織の常態を理解する。 到達目標: 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。 【構成成分とその変化を含む。】 歯種別の形態と特徴を説明できる。 歯(含:乳歯、幼若永久歯)の硬組織の構造と機能を説明できる。 【構成成分とその特徴を含む。】
34 頁 F-2-(4)-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因	一般目標なし 1) う蝕の病因と病態を説明できる。 2) 歯の発育障害の病因と病態を説明できる。 5) 病因としての口腔細菌、歯垢及び歯石を説明できる。	21 頁 F-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因	一般目標: 歯と歯周組織に生じる疾患の概要を理解する。 到達目標: 歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。 口腔細菌、歯垢および歯石について説明できる。
		22 頁 F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療	一般目標: 歯と歯周組織に生じる疾患の治療の進め方の基本を修得する。 到達目標:
34 頁 F-2-(4)-2)- う蝕	1) う蝕の症状、診断を説明できる。 2) う蝕の処置方針を説明できる。	22 頁 F-3-3)-(1) う蝕の診断と治療	う蝕の症状と診断を説明できる。 【検査法を含む。】 う蝕の予防と治療の方法を説明できる。
34 頁 F-2-(4)-2)- 歯髄・根尖歯周組織疾患	1) 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断及び治療法を説明できる。 3) 歯髄・根尖歯周組織疾患の救急処置の種類と方法を説明できる。	22 頁 F-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療	歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。 【検査法を含む。】 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。
35 頁 F-2-(4)-2)- 歯周疾患	2) 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 6) 歯周疾患の救急処置の種類と方法を説明できる。	22 頁 F-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療	歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。 【検査法、メンテナンス法を含む。】 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。
35 頁 F-2-(4)-2)- 象牙質知覚過敏症		22 頁 F-3-3)-(4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療	

35 頁 F-2-(4)-2)- 歯 質欠損	一般目標: 歯質欠損に対する歯冠修復の臨床的意義と方法を理解する。	23 頁 F-3-4) 歯質欠損 と歯の欠損の <u>診断 と治療</u>	一般目標: 歯質欠損に対する <u>歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対 する修復の臨床的意義と方法を理解する。</u>
35 頁 F-2-(4)-2)- -歯 冠修復	10) 平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。	23 頁 F-3-4)-(1) 歯冠 修復	平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。 【使用方法を含む。】
35 頁 F-2-(4)-2)- 歯 の欠損	一般目標: 歯列の一部あるいは全部欠損に対する修復の臨床的意義と方法を理解する。	なし	
35 頁 F-2-(4)-2)- -固 定性義歯(橋義歯)	3) 支台装置とポンティックの種類と適応、特徴及び製作法を説明で きる。	23 頁 F-3-4)-(2) 固定 性義歯(橋義歯)	支台装置とポンティックの <u>選択、特徴および製作法</u> を説明できる。
36 頁 F-2-(4)-2)- -可 撤性義歯(部分床 義歯、全部床義歯)	11) 可撤性義歯の製作過程における基本的手技ができる。	24 頁 F-3-4)-(3) 可撤 性義歯(部分床義 歯、全部床義歯)	可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。
36 頁 F-2-(4)-2)- -デ ンタルインプラント		24 頁 F-3-4)-(4) デンタ ルインプラント	
36 頁 F-2-(5) 口腔・顎 顔面領域の疾患	一般目標なし	19 頁 F-2-4) 口腔・顎 顔面領域の疾患	【治療法については基本的な治療方針に限る。】 一般目標: 口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因および診断・治療の基本的 概念を理解する。
36 頁 F-2-(5)-1)外傷		19 頁 F-2-4)-(1) 外傷	
36 頁 F-2-(5)-2)炎症・ アレルギー		19 頁 F-2-4)-(2) 炎症 とアレルギー	
37 頁 F-2-(5)-3)嚢胞・ 腫瘍及び類似疾患	4) 顎骨に発生する歯源性嚢胞(含:歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯原 性角化嚢胞)を概説できる。	20 頁 F-2-4)-(3) 嚢 胞、腫瘍および類 似疾患	顎骨に発生する歯源性嚢胞を概説できる。
37 頁 F-2-(5)-4)顎関節 疾患		20 頁 F-2-4)-(4) 顎関 節疾患	

37 頁 F-2-(5)-5)唾液腺疾患	4) シェーグレン症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。	20 頁 F-2-4)-(5) 唾液腺疾患	<u>Sjögren</u> 症候群の特徴、症状および治療法を説明できる。
37 頁 F-2-(5)-6)神経性疾患		20 頁 F-2-4)-(6) 神経性疾患	
38 頁 F-2-(5)-7)口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患		20 頁 F-2-4)-(7) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患	
38 頁 F-2-(5)-8)口腔・顎顔面領域の機能障害		21 頁 F-2-4)-(8) 口腔・顎顔面領域の機能障害	
38 頁 F-2-(6)歯科医療の展開 1)不正咬合・成長発育	一般目標: 不正咬合に対する治療の必要性とその意義を理解し、また、小児の歯科治療の特異性を学ぶ。	24 頁 F-4 歯科医療の展開	一般目標削除
38 頁 F-2-(6)-1)- 不正咬合	到達目標: 8) 矯正治療によって起こる生体の反応を列挙できる。	24 頁 F-4-1) 不正咬合	一般目標: <u>不正咬合に対する治療の必要性とその意義を理解する。</u> 到達目標: 矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。
38 頁 F-2-(6)-1)- 小児の歯科治療	一般目標: 成長発達期の小児の歯科治療における問題を理解する。 到達目標: 3) 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。	24 頁 F-4-2) 小児の歯科治療	一般目標: 成長発達期の小児の歯科治療における <u>留意点</u> を理解する。 到達目標: 乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的と種類、適応症、手順と留意事項を説明できる。 <u>[小児のラバーダム防湿法を含む。]</u>
39 頁 F-2-(6)-2) 高齢者の歯科治療		25 頁 F-4-3) 高齢者の歯科治療	
39 頁 F-2-(6)-3) 障害者の歯科治療		25 頁 F-4-4) 障害者の歯科治療	
39 頁 F-2-(6)-4) 心因性疾患		25 頁 F-4-5) 心因性疾患	